

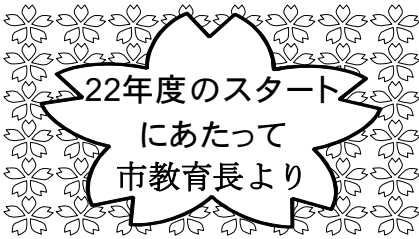
北斗通信

エバーオンワード(限りなき前進)

藤岡市立北中学校校長室通信

平成22年4月9日(金)

NO. 2(通算64)



年度のスタートにあたり、藤岡市教育長より、教職員に以下のような指示がありました。子どもの健全な育成や学力向上を目指して取り組むべき内容です。本校でもこの内容を踏まえ、更に実態や地域からの要望に応え、子どもたちの教育に取り組んでいきたいと考えます。

(1) 学校経営への英断と一丸となった取り組み

子どもたちのためになると判断したことは、学校全体で一丸となった取り組みをお願いしたい。

(2) 育てて欲しい子どもの心

うぬぼれではなく、自分自身を価値あるものとして考える「自尊の心」をもつことが大変重要だと感じる。また、困っていることを見聞きして、同情したり、相手の気持ちになって考えたりする「惻隠の心」を育てることも大切。

(3) 小中連携の推進

9年間を見据えた子どもの育成をしてほしい。校長、教頭、教務主任の連携はもとより、生徒指導では・・・、学習の構えでは・・・、とできるだけ具体的な取組を進めてほしい。

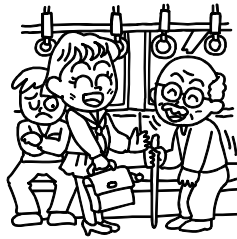
(4) 読書活動の推進

読書の素晴らしさを見直して、子どもたちに読書を勧めてほしい。学校図書館を積極的に活用し。また、授業に役立つ資料がすぐ手に入るような学校図書館の整備も進めてほしい。



(5) メディア利用への目配り

子どもたちのメディアに関する調査結果から、保護者は友達とのメールのやりとりやインターネット利用で使われることを知らずに携帯電話を買い与えてしまっていること、家族で携帯電話を使うルールを決めていないこと、まだ平日5時間以上もメディア漬けの子どもたちがいることなどが明らかになった。子どもたちがいろいろなトラブルに巻き込まれることなく、健全に育つためにも、学校を挙げて、地域を巻き込んだ取り組みを進めてほしい。(概略)



「^{じぞん}自尊・^{そくいん}惻隠の心」は人間尊重が基礎

左ページの教育長指示(2)育てて欲しい子供の心の中で、「自尊の心」と「惻隠の心」という言葉が使われています。どんな意味なのでしょう。

生徒に「生きる力」をはぐくむときに最も重要なことは、生命を尊重する心、他人への思いやりの心と考えます。自尊と惻隠の心を育てることによって、規範意識や倫理観を高めて、一人ひとりに自己実現と成長への努力を惜しまない向上心をもたせたいということだと思います。

自尊の心は、自分自身をかけがえのない素晴らしい存在であると思う心です。そしてそれは、友達や仲間との相互の人間尊重を基に成り立っていると考えます。お互いに人間であることを認め合って、人として、社会の一員として、どう生きるか考えることから、他者に対する敬愛の心をもつようになります。



惻隠の心の「惻」は「いたむ、うれえる、あわれむ」の意味で、「隠」は「惻」と同じく、「いたむ、うれえる」に意味をもち、「思いやり、やさしさ」と通じる言葉です。惻隠の心は、あまり聞きなれない言葉ですが、苦しんでいる人や弱者を思いやる、愛、寛容、同情などの心として、とても大切なものとされています。

孟子の言葉に「惻隠の心は仁の端なり」というものがあります。他人のことを思いやる心は、やがては人の最高の徳である仁に通じ、人間の心の中には、もともとに人を思いやる気持ちが備わっているのですから、という意味です。

最近の人は、「自尊の心」も「惻隠の心」も希薄になってきていると言われています。社会生活でも、家庭生活でも、これらの心が大きく包まれたものになって欲しいものです。まずは大人がこれらの心を大切にしましょう。